



ぎかい、だより

懸かけはし橋



- 第2回臨時会…………… P 2
- 第3回議員全員協議会…………… P 3
- 6月定例会…………… P 4
- 広域事務組合派遣議員報告…………… P 7
- 一般質問(7名)…………… P 8

史跡(一里塚)と水田

おいらせ町木ノ下地区の一里塚は1652年から1654年に構築されたものと推定され、北塚・南塚の2基が保存されています。

写真提供：沢尾 さわ お 宏之 ひろゆき 副委員長

※ぎかいだより懸橋では、文字の形がわかりやすく読みやすい「ユニバーサルデザイン(UD)フォント」を使用しています。

・発行 おいらせ町議会 ・編集 議会広報編集調査特別委員会 〒039-2192 青森県上北郡おいらせ町中下田135-2
TEL 0178-56-2111 FAX 0178-56-4364 おいらせ町ホームページ <https://www.town.oirase.aomori.jp>

二次元コード読み取り機能付きの携帯電話等で読み込むと、議会ホームページに接続できます。➡ ➡ ➡ ➡ ➡



5月
臨時会

令和8年第2回臨時会は5月19日に開かれ、承認5件、議案1件が審議され、いずれも原案のとおり承認・同意されました。

副町長に **さいとう 齋藤** **なおき 直樹** 氏を選任



区分	議案番号	▼議案審議一覧	議決結果
		5月19日(火) 全案可決	
承認	5	専決処分の承認を求めることについて(町税条例の一部を改正する条例) 【概要】承認5～6号は税制改正に伴い、本条例に所要の改正を行うもの	承認
承認	6	専決処分の承認を求めることについて(国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
承認	7	専決処分の承認を求めることについて(地方活力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する一部を改正する条例) 【概要】減収補填制度改正に伴い、本条例に所要の改正を行うもの	承認
承認	8	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度一般会計補正予算(第10号)) 【概要】歳出では森林環境整備基金積立金を増額したもの	承認
承認	9	専決処分の承認を求めることについて(令和8年度一般会計補正予算(第1号)) 【概要】4月に発生した地震及び暴風被害に係る災害救助費、災害復旧費等を増額したもの	承認
議案	22	副町長の選任につき同意を求めることについて 【概要】空席となっている副町長の選任について議会の同意を求めるため提案するもの	同意

人事
案件

さいとう 齋藤 **なおき 直樹** 氏
(向山)

空席となっていた副町長に齋藤直樹氏を選任する議案が、満場一致で同意されました。齋藤副町長は、令和8年3月まで青森県職員として観光国際戦略局長、観光交流推進部長などを歴任しています。任期は令和8年5月19日から令和12年5月18日までとなります。

挨拶では「副町長という大役を仰せつかり、その職責の重さに身の引き締まる思いです。成田町長を補佐し職員と協力して町の発展のために全力を尽くします。」と述べました。

主 質 疑



【承認第7号】

専決処分の承認(地方活力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する一部を改正する条例)

問 これまでに町内へ本社機能を移転し、この制度を活用した企業の実績はあるのか。また、今後の見込は。
(平野 敏彦 議員)

答 平成27年度に創設された制度だが、町内での実績はなく、青森県内でも過去に2件だけとなっている。東京23区から地方に本社機能を移転した場合に税の優遇措置を受けられる制度だが、企業にとっても容易ではないと思われる、今後も活用は難しいと考える。



全員協議会とは、町政に関する重要な事件や町議会内部の事項について報告・協議するため必要に応じて開かれます。第3回では4件の案件について説明がありました。



案件	▼案件一覧
1	新庁舎建設事業について
2	新病院建設事業について
3	4月発生の自然災害対応等について
4	保育料及び副食費*無償化事業の実施について



※副食費…主食を除くおかず、おやつ、食材料費

今回は『案件4 保育料及び副食費無償化事業の実施について』をピックアップして掲載します。

【趣 旨】

令和6年度に県が創設した「青森県学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金」に令和8年度から拡充分が新設されたことで、保育料及び副食費を無償化するものです。

【概 要】

国の公立小学校給食費無償化に伴い、県は令和8年2月に市町村取組分として従来の交付金に約14億円を拡充する考えを示しました。

当町は町単独事業（自主財源）で第3子以降の保育料及び副食費の無償化事業を実施していますが、今般、交付金が拡充されたことで保育料及び副食費を令和8年度から無償化するものです。

○保育料・副食費を無償化する場合の試算○

項 目		金 額	備 考
保護者負担額		1億446万7千円	特定教育・保育施設等 保育料・副食費
		276万4千円	新制度未移行幼稚園副食費
計		1億723万1千円	
財 源	新たな子育て無償化（拡充分）	4,679万9千円	
	町負担額（自主財源）	6,043万2千円	



▲詳しくはこちら

【今後の予定】

○6月 6月議会（予算）、県に交付金交付申請書を提出、施設及び保護者に周知

○7月 無償化実施 ※令和8年4月遡及適用

主 な 質 疑



【案件4】

保育料及び副食費無償化事業の実施について

問 大変ありがたい取り組みである。副食費の子ども1人あたりの金額はいくらなのか。

（おがさわら しんや
小笠原 伸也 議員）

答 副食費は施設によって金額が違うが、国の基準額は4,900円／月である。



6月 定例会

新庁舎・新病院建設用地を取得

令和8年第2回定例会は6月4日から10日までの7日間の日程で開かれました。
監査委員の選任など人事案件を含む、報告3件、議案14件、合計17件が審議され、いずれも原案のとおり可決しました。

区分	議案 番号	▼議案審議一覧	議決 結果
		6月9日（火）～10日（水） 全案可決	
報告	2	専決処分の報告について（下田公園野球場クレイ舗装等改修工事請負契約の変更契約の締結） 【概要】 現地精査による観覧席防水に係る数量変更等に伴い、契約金額を309万1千円減額し変更後の契約金額を1億7,580万2千円としたもの	報告
報告	3	令和7年度一般会計繰越明許費繰越計算書について 【概要】 本庁舎屋内消火栓水中ポンプ改修事業等、14件の事業について令和8年度への繰越額が確定したもの	報告
報告	4	令和7年度下水道事業会計予算繰越計算書について 【概要】 令和7年度の建設又は改良に要する経費の一部を令和8年度へ繰越したもの	報告
議案	23	監査委員の選任につき同意を求めることについて 【概要】 現委員の任期満了につき後任の委員の選任について、議会の同意を求めるもの	同意
議案	24	執行機関の附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例について 【概要】 町長の附属機関として新たに再生可能エネルギー施設の設置に係る審議会を設置するため提案するもの	可決
議案	25	印鑑条例の一部を改正する条例について 【概要】 特定在留カード及び特定特別永住者証明書による印鑑登録証明書の取得を可能とする改正を行うもの	可決
議案	26	本庁舎耐火書庫ハンドル式移動書架購入契約の締結について 【概要】 青森県東方沖地震により破損した書架を437万8千円で購入するもの	可決
議案	27	新庁舎建設事業用地の取得について 【概要】 中野平地区の土地6筆、合計面積1万4,054.29平方メートルを、総額1億8,130万円で下田タウン株式会社から取得するもの	可決
議案	28	神明橋橋梁補修工事請負契約の締結について 【概要】 阿光坊地区から本村地区に架かる神明橋の補修工事を、4,950万円で株式会社柏崎組と契約を締結するもの	可決
議案	29	木ノ下中学校講堂解体工事請負契約の締結について 【概要】 旧講堂の解体工事を7,700万円で株式会社柏崎組と契約を締結するもの	可決

人事案件

【議案第23号】

監査委員の選任について
後任の候補者として同意されました。

任期は令和8年6月13日から4年間です。

かわぐち はるひこ
川口 晴彦 氏
(藤ヶ森)

選挙管理委員会委員選挙

任期満了に伴い、選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙が行われました。任期は令和8年6月12日から4年間です。

○選挙管理委員会○

た なか なお き
田 中 直 喜 氏 (本 村)
わか まつ み
若 松 ひふ美 氏 (上新町)
うち さわ みのる
内 沢 稔 氏 (緑ヶ丘)
ふ つ ざわ まさ こ
普津沢 正 子 氏 (藤ヶ森)

○選挙管理委員会補充員○

かしわ ざき なお き
柏 崎 尚 生 氏 (木内々)
く どう しん いち
工 藤 慎 一 氏 (緑ヶ丘)
たに かわ さと し
谷 川 悟 司 氏 (二川目)
にし だて てる かず
西 舘 輝 一 氏 (深 沢)

7月7日（火）開催の委員会において、委員長に田中直喜氏が選ばれました。

区分	議案番号	▼議案審議一覧 6月9日（火）～10日（水） 全案可決	議決結果
議案	30	いちよう公園体育館受変電設備改修工事請負契約の締結について 【概要】 いちよう公園内にあるキュービクル及び高圧ケーブル改修工事を5,412万円で有限会社アイテックと契約するもの	可決
議案	31	新病院建設事業用地の取得について 【概要】 中平下長根山及び中野平地内の土地6筆、合計面積5,685.28平方メートルを総額7,334万円で下田タウン株式会社から取得するもの	可決
議案	32	新病院建設事業用地の取得について 【概要】 中平下長根山及び中野平地内の土地2筆、合計面積7,023平方メートルを総額1億3,905万5,400円でイオンモール株式会社から取得するもの	可決
議案	33	令和8年度一般会計補正予算（第2号）について 【概要】 歳出では保育料の無償化に伴い、子どものための教育・保育給付費を増額するもの	可決
議案	34	令和8年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について 【概要】 議案第34～36号は、職員の人事異動に伴う給与費の補正等を計上するもの	可決
議案	35	令和8年度介護保険特別会計補正予算（第1号）について	可決
議案	36	令和8年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	可決

第2回定例会 行政報告

行政報告とは、町が議会へ主要施策の現状や進捗状況を報告するものです。
第2回定例会では3件の報告がありましたので、内容を抜粋して掲載します。

No.1 地域防災計画及び津波避難計画の修正について

まちづくり防災課

災害対策基本法に基づく町の防災に関する基本計画で、令和8年4月1日付で修正しました。

主な修正内容は緊急避難施設の指定から外れた桃川（株）事務所の削除や、津波警報及び大津波警報が発表された場合の、開設避難場所及びに避難所開設担当課、補助課の体制について見直しをしました。



▲詳しくはこちら

No.2 新型インフルエンザ等対策行動計画改定について

健康保険課

平成21年の新型インフルエンザ発生を契機に、新型インフルエンザ等対策特別措置法が制定され、町は同法に基づき標記計画を策定しました。

今般、新型コロナ対応の課題やこれまでの関連する法改正等を踏まえ、国及び県が行動計画を改定したことから、特措法に基づき県行動計画の改定内容を踏まえた町行動計画の改定を行いました。



▲詳しくはこちら

No.3 緊急銃猟対応マニュアルの策定状況について

産業課

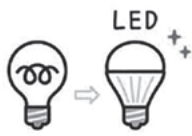
近年、大型野生獣の住宅地への出没が増加していることから、令和7年9月に「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」が改正されました。町では県の基本案をもとに関係組織の意見も反映し策定しています。

今後は7月以降にマニュアルの最終確認及び決定後、マニュアルにのっとり訓練等を実施し体制を整備していきます。

令和8年度 6月の主な一般会計補正予算(第2号)



歳入歳出予算額に1億3,967万4千円を増額し、予算の総額を122億5,261万3千円としました。

合併20周年記念ラジオ 公開収録事業実施委託料	集会所建設等補助金	子どものための 教育・保育給付費	木内々小学校施設 災害復旧工事
記念事業としてFM青森 のラジオ公開収録に係る 委託料 新設 192万6千円 	一川目コミュニティホールの照明器具LED化及び曙 集会所の外壁等塗装工事に 係る補助金(町1/2) 補正額 111万2千円 補正後 218万7千円 	保育料無償化事業の給付 見込額 補正額 8,041万3千円 補正後17億7,316万3千円 	4月の暴風により破損し た小学校体育館屋根の補 修工事 補正額 288万2千円 補正後 359万7千円 

特別会計 補正予算

会 計	補正総額	補正後予算総額	歳出の主な内容
特別会計 国民健康保険(第1号)	141万6千円	24億7,145万円	職員給与費の増額
介護保険(第1号)	▲143万1千円	24億6,727万4千円	職員給与費の減額等
後期高齢者医療(第1号)	▲20万円2千円	3億2,209万9千円	職員給与費の減額

主 な 質 疑



【議案第27号】

新庁舎建設事業用地の取得について

問 新庁舎用地は法人1者、職員駐車場用地は法人1者、個人14者の所有地であるとのことだが、地権者は協力的であると解してよいか。

(にしだて よしのぶ 議員)

答 地権者に対しては事業説明会に来ていただき計画を説明したが、反対意見はなかったと聞いている。現在に至るまでも明確な反対意見はない。



【議案第33号】

令和8年度一般会計補正予算(第2号)

問 コミュニティセンターの蛍光灯の交換費等は町内会負担である。今後、LED化に対応するためにも全体的に補助金を交付する考えはないのか。

また、町から委託され敬老会やいきいきサロンを各施設で開催しているが、エアコンがない施設もある。近年の猛暑も考え、エアコン設置についても補助金で対応できないか。

(ささき まさる 議員)

答 施設ごとに実情が違うと思うので、まちづくり防災課へ相談していただきたい。

問 合併20周年記念ラジオ公開収録の時期や回数等の詳細を伺う。(ひらの としひこ 議員)

答 現時点の予定としては、10月3日に開催予定のおいらせ秋まつりに合わせて、イオンモール下田内で公開収録を行う。予算額は当日の収録だけでなく、数週間前からのラジオCMの経費も含む。

議会選出一部事務組合議会議員による派遣報告

一部事務組合とは、市町村が行う仕事の一部を複数の市町村が共同で行うことを目的として設置された行政機関です。

6月定例会において、私たちの生活に関わりがある各広域事務組合等に派遣されている3名の議員より事業報告がありました。



八戸地域広域市町村圏事務組合

『消防』、『介護福祉等』に関する業務を行っている一部事務組合



【構成市町村】
八戸市・階上町・五戸町・南部町・
三戸町・田子町・新郷村・おいらせ町

派遣議員

ひらのとしひこ
平野敏彦

令和8年度当初予算 91億2,700万円
(万円)

会計	総予算額	町負担額
議会費	1,276	0
総務費	867	162
民生費	1億583	523
衛生費	32億8,750	0
消防費	50億4,038	3億5,745
公債費	6億7,086	2,062
予備費	100	0

上北地方教育・福祉事務組合

『知的障がい者施設等の管理及び運営』に関する業務を行っている一部事務組合



【構成市町村】
十和田市・三沢市・七戸町・東北町・横浜町・
野辺地町・六戸町・六ヶ所村・おいらせ町

派遣議員

にしだてよし のぶ
西館芳信

○令和7年第2回定例会 (R7.10.31)

- ・令和6年度歳入歳出決算認定
- ・一般会計補正予算 等

○令和8年第1回定例会 (R8.2.10)

- ・一般質問「小川原湖青年の家の改築、財政状況について」等
- ・令和8年度当初予算
7億6,617万9千円承認
- ・一般会計補正予算

十和田地域広域事務組合

『ごみ』、『火葬』、『し尿』に関する業務を行っている一部事務組合



【構成市町村】
十和田市・六戸町・五戸町・
新郷村・おいらせ町

派遣議員

きむらちゅう いち
木村忠一

令和8年度当初予算
(万円)

会計	総予算額	町負担額	町負担額 前年比
一般	8,124	796	117
清掃	14億9,470	2億8,670	3,729
衛生	1億9,871	3,728	413
火葬	6,679	1,084	△135

- ・町負担額合計 約3億4,278万円
前年度比4,124万円の増
- ・新規事業として自動燃焼データ処理装置更新の外、十和田最終処分場廃止事業等に予算計上

一般質問



一般質問とは、年4回の定例会で行われ、議員が町の執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針について、所信や疑問をたずねることです。現行の政策を見直し、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的効果があります。

6月定例会では7人の議員が登壇し質問を行いました。ここでは、質問と答弁を要約した内容（9頁から15頁まで）を登壇順（質問順）にお知らせします。

※一問一答方式の場合、60分の制限時間内であれば質問の回数に制限はありません。

「ぎかいだより懸橋」では、質問した議員が原稿を作成しており、スペースの都合上、質問と答弁を要約しています。

※会議録は議会事務局（本庁舎3階）または町ホームページで閲覧できます。また、本会議場で傍聴することもできます。

ページ	議員（質問順）	主な質問項目
9	ならやま 榎山 議員 ただし 忠	・ 町民第一のまちづくりについて問う ・ 町と観光物産協会の関りを問う ・ 地域おこし協力隊について問う ・ 4月の強風被害状況は ・ 小中学校の運動会開催日について問う
10	おおうら 大浦 議員 ようこ 陽子	・ 給食費完全無償化の現状と課題を問う
11	さわお 沢尾 議員 ひろゆき 宏之	・ イオン下田周辺道路の安全について問う ・ 町民要望事項の対応について問う
12	てんま 天間 議員 さいこ 財子	・ 町誕生20周年の取組みについて問う ・ 県道10号線の混雑解消対策は ・ 町の起業支援について問う
13	ひらの 平野 議員 としひこ 敏彦	・ 町長の政治姿勢を問う ・ 町の防犯対策の現状は ・ 青森国スポ・障スポ開催に向けて
14	おがさわらしんや 小笠原伸也 議員	・ おいらせ病院移転後の利活用について問う ・ 河川敷広場（公園）の現状を問う ・ 選挙の投票率について問う
15	さわかみ 澤上 議員 さとし 訓	・ ふるさと納税の現状を問う ・ 墓地行政の課題について問う

観光物産協会の今後の展望を問う

ならやま 榎山 忠 議員



町民第一のまちづくりについて問う

問 前町長時代の平成21年4月に自治基本条例を制定し、町内各小学校区を単位とした地域づくり協議会を設置したが、その後の活動状況と次の施策へ活かす考えは。

答 これまで2つの団体を認定。木内々小学校区では通学路の除草、除雪、道路反射鏡や防犯カメラの設置をしている。木ノ下小学校区の古間木山地域では盆踊り大会の開催、勉強会や広報の発行、活動に関する設備整備を行なっている。課題をしっかりと検証し、次の施策へ活かす考えである。

町と観光物産協会の関りを問う

問 町は法人化にあたり、話し合いをしたのか。

答 町の観光物産を振興する民間団体という公共性を鑑みて、支援等を中心に協議を行った。

問 協会は運営にあたり、計画書を明示し検討したのか。また、祭り等の委託業務と白鳥の家の今後の活用は。

答 法人化のメリット、組織体制、財源、運営等の計画書が提出され、これをもとに法人設立後の協会に対する支援を協議した。

白鳥の家に関しては、町の特産品の販売や周辺の公園を体験できるメニューの開発による集客が計画されており、白鳥の家を拠点とした観光物産の振興に期待している。指定管理の期間は令和8年度から3年間。

問 町職員の派遣期間は。

答 令和11年3月31日までの3年間としている。

問 ふるさと納税の委託業務を早急に行うべきと考えるが。

答 まずは自立化のための取り組みやイベント等を継続させることが最優先であると考えている。

そのうえでふるさと納税の中間管理業務を受託するためには業務のノウハウ、人員体制が必要である。受託可能者となることは、協会の自立化に寄与するものと考ええる。

地域おこし協力隊について問う

問 隊員の職務内容と任期、給料等は。

答 移住・交流事業に関する活動等、地域資源の発掘、農水産業の振興、観光振興、地域ブランドの振興、6次産業化の推進、地域の活力維持、魅力再発見、これらを踏まえ、町が活動テーマを設定し募集している。

任期は原則1年としているが最長3年まで活動可能。報酬は月額20万円と年2回の期末・勤勉手当を支給している。その他、通勤、居住支援、雇用保険、公務災害補償保険等に参加している。

問 今後の採用予定は。

答 観光物産振興、高校魅力化分野で、令和9年度からの活動開始を目指し準備を進めている。

4月の強風被害状況は

問 間木町内会の山車小屋が被害を受けてる。一団体が修繕費捻出は困難と思うが、助成考えはないか。

答 相談があれば、実情を伺い対応を協議していく。

小中学校の運動会開催日について問う

問 小、中学校の運動会は、来年度から通常授業日に開催すると聞くがその理由は。また、保護者が納得したものか。

答 中学校は、令和6年度から百石中学校、今年度から下田中学校と木ノ下中学校が平日に開催。小学校は全校とも土曜日に開催した。平日開催の動きは、令和7年7月に県教育委員会、県PTA連合会等が連名で出した、学校における働き方改革推進共同宣言によるもの。

問 小学校は今まで通り土・日曜日に開催する考えはないか。

答 学校行事の決定権は学校にあり、学校が平日開催を決定した場合は、教育委員会はその意向を尊重する。



給食費無償化と不登校の子どもたちへの支援の在り方

おおoura ようこ
大浦 陽子 議員

給食費完全無償化の現状と課題を問う

問 国による公立小学校給食実質無償化がスタートし、県事業の中学校給食無償化は継続、今年度から保育料及び副食費無償化事業も開始され、子育て世帯への支援拡充が進められる一方で、全国的に不登校児童生徒数は増加傾向で、不登校により給食の栄養支援や学校とのつながりから外れる子どもへの支援が課題である。当町の現状と今後の施策を伺う。

青森県事業開始後の当町における財政面の影響や効果など、また保護者からの反響はどうか。

答 県の交付金制度は令和6年度から開始、6年度は給食材料費1億3,191万5,311円に対し、約843万円、7年度は1億4,551万6,991円に対し、約1億1,458万円を充当したので同額の一般財源予算を他の事業に充てることができた。

保護者からの反響は、当町ではすでに平成31年1月から実施しているため、今回の事業実施についての意見はなかった。

問 保育料及び副食費無償化事業を開始するうえで、現状の課題について伺う。

答 開始にあたり、各施設において当町以外の利用があり、市町村毎に無償化の内容が異なるため、利用者毎の請求等が煩雑になると予想される。

また今年の試算は約1億700万円が必要であり、このうち交付金拡充分の約4,700万円が交付されるが、自主財源として約6,000万円が必要。恒久的な財源として、交付金の継続と増額も課題である。

問 当町の不登校児童生徒数及び推移と、実施している不登校児童への支援体制を伺う。

答 小学校は令和5年度31人、令和6年度23人、令和7年度29人。中学校は令和5年度54人、令和6年度51人、令和7年度66人、やや増加傾向。

支援体制は初期段階で家庭と連携し、安心できる環境を整え、保健室や別室登校などの多様な選択肢を用意し、児童生徒が出来ることから取り組んでいる。

また、みなくる館には教育相談員3名、中学校に教育相談支援員1名ずつ配置し、県事業より配置されているスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと連携を取りながら、不登校

等課題を抱える児童生徒、保護者の相談にあたっている。

問 不登校児童生徒が、給食支援から外れている現状についての認識を伺う。

答 登校した場合は給食を食べられるが、欠席の場合は給食を食べられません。不登校児童生徒が対象にならないことを懸念する意見も承知している。

問 全国自治体における、不登校児童生徒への給食支援事例についての認識を伺う。

答 全国では学校に通えなくても、学校給食センターなど一部を開放し、学校と同じ給食を食べられる環境を整えている自治体もある。

県内では青森市が昨年度から「不登校児童生徒のための給食体験会」という取り組みを開始し、その成果について注視している。

問 今後、不登校児童生徒への給食提供など、当町として導入の可能性について伺う。

答 学校では登校した際に給食が食べられるよう準備をしている。

学校で給食を食べることが困難な児童生徒への給食提供については、支援現場のニーズを確認しながら、給食センターなど教室外で食べることが出来ないかなど、検討を重ねる。



安全・安心な道路整備を

さわ お ひろゆき
沢尾 宏之 議員



「5月臨時会」

「第3回議員全員協議会」

「6月定例会」

「広域事務組合派遣議員報告」

「一般質問7名」

イオン下田周辺道路の安全について問う

問 イオンモール下田の北東信号機からイオンモール下田方面、イオンモール下田から下田公園方面に向かう道路に段差等があり走行に支障がある。計画的に補修する必要があると思うが如何か。

答 2か所の段差については町でも把握しており車道の舗装補修を計画している。

財源として国庫補助・起債事業の活用を予定しており予算の確保が出来次第、事業に着手したい。

問 イオンモール下田西側交差点から下田公園方面に向かう箇所の段差により車両バンパーを接触したとの情報もある。道路を管理する行政へ補償を求められることが懸念されることから、道路の改善を検討する必要があると思うが如何か。

答 イオン北東側信号機のある交差点からイオン北西側交差点までの区間で計画している舗装補修で対応したいと考えている。

再 イオンモール下田周辺の道路は、新庁舎、新病院が竣工した際、主要な道路になるためアンダーパスの問題解除を含め対応して頂きたい。

答 計画的に補修を実施したい。



▲イオンモール下田北東側の道路

町民要望事項の対応について問う

問 4月に実施された町内一斉清掃時に相談があり要望した道路補修等の件についての実施状況は。

答 町に寄せられる道路補修に関する要望のうち、砂利道の補修等は早急に対応しているが、工事発注を要するものなど予算化が必要な要望もあるため時間を頂く。

再 木ノ下南地区の農道対応状況は。

答 整地及び草刈りを実施した、碎石等の対応は検討中である。

問 昨年、一般質問した鶉久保山地区の車両通行による土煙対応はどのように対応したのか。

答 町では未舗装道路における土煙対応については、防塵剤の配布等で対応している。

再 同じ鶉久保山地区の用水路付近前の安全柵が破損しており危険である。通学路の安全を確保する必要があるのでは。

答 改良区のものと思われるが、早急に確認し対応する。



▲破損し危険な柵





町民第一のまちづくりを

てん ま さい こ
天間 財子 議員

町誕生20周年の取組みについて問う

問 おいらせ町は、青森県内で唯一人口が増加している町として活気に満ちており、県民の皆様からも注目の的となっている。今後どのようなまちづくりをしていくか抱負と意気込みをお聞かせ願ひながら、令和8年3月1日に誕生20周年を迎えたが、どのようなイベントを考えているのか、町民へどのようなメッセージを送る企画となっているか。

答 町合併20周年関係のイベントとして、現在、FMラジオの公開収録と合併20周年記念式典を計画している。FMラジオの公開収録は、おいらせ秋まつり開催予定の10月3日に、イオンモール下田での実施を予定しており、ラジオのリスナーやおいらせ秋まつりの来場者向けに町をPRし、賑わいの創出とイオンモール下田との連携強化を図るというもの。記念式典については、詳細内容の検討中で時期や場所はまだ確定していない。

町民へのメッセージは、これまでの20年の軌跡を礎に、心をひとつに新たなステージへ向かいたいという思いがある。

県道10号線の混雑解消対策は

問 おいらせ町は人口が増加し、特に「北部」と呼ばれている「木ノ下」「鶉久保」「若葉」「緑ヶ丘」「青葉」この五つの町内の人口増加は群を抜いている。木ノ下小学校は県内で1位の生徒数が多い学校である。町から近隣の市町村へ通勤する人々が朝夕と多くいるため、道路が非常に混んでいる。「北部」の幹線道路である「三沢十和田線」の道路の混雑について、県への報告や陳情がすでに行われているのか。

答 現時点で、県への報告や陳情はしていない。町としても道路状況は把握しているので、町から道路管理者である県に対して、今回の一般質問の状況を報告していく。

町の起業支援について問う

問 町民が「暮らし」を営んでいる場所としての機能が必要である。ショッピングストアの充実はもちろん「暮らし」に寄り添ったサービスが必要不可欠である。飲食業・理美容関係・家事代行サービス・育児代行サービス・リラクゼーションなどの様々なサービスを町民は求めている。

子育てをしながらできる仕事、退職後にセカンドライフでできる仕事、国で推し進めている副業など働き方を選べる時代。規模の小さな個人事業者の起業を応援する「起業支援」の取り組みが現在あるか。

答 平成28年1月に産業競争力強化法に基づく「おいらせ町創業支援等事業計画」を策定し、国の認定を受けている。この計画により、町と各支援機関が連携したワンストップ相談窓口を産業課に設置し、創業希望者を継続的に支援する体制を整備している。

青森県が実施する「青森新時代」への架け橋資金特別融資保証制度の利用者を対象に、信用保証料の補助を行っている。



防犯カメラの設置で安全安心な町を

ひらの としひこ
平野 敏彦 議員



町長の政治姿勢を問う

問 政策のキャッチフレーズ「絆をはぐくみともに歩もう」について、後援会だより第1号に掲げた4本の柱・19の施策を、第2号では8つの施策とした理由は。

答 後援会だより第1号は政治活動の一環として目指すまちづくりの方向性をお示しするため、政策全体を体系的に整理したもの。第2号では、特に重点的に取り組んでいきたい施策を、町民の皆さまにわかりやすくお伝えするために整理したもの。

問 政策の理念「町民第一のまちづくり」について、町民のことを第一に必要なことは何か、大切なことは何かとあるが、具体的にはどのようなことか。

答 町民第一のまちづくりについては、町民の皆さまとしっかりと向き合い、安心して暮らしていただけるまちづくりを進めていく考えである。町民の皆さまと直接対話する懇談会を開催し、幅広い意見を伺っていく。町民の声をしっかりと聴きながら、その声と町の将来のことを両方考えて判断することである。

問 合併20周年記念式典を開催する考えはないか、実施時期と開催規模・開催方法について。

答 式典の時期等詳細については現在調整中である。

町の防犯対策の現状は

問 防犯カメラの公共施設への設置状況は。

答 学校、コミュニティセンター、公民館、スポーツ・レクリエーション施設、行政施設など、33施設に105台設置している。

問 町内の企業、商店等の設置状況は。

答 町では把握していない。町商工会、三沢警察署に問い合わせたところ把握していないとのこと。

問 町内会等での設置状況は。

答 町内会等での設置は確認しているが、台数や場所等については防犯効果の低下につながる恐れがあることから、答弁は差し控えさせていただく。

問 町内小中学校の通学路の設置状況は。

答 通学路への設置については確認しているが、台数や場所等については防犯効果の低下につながる恐れがあることから、答弁は差し控えさせていただく。

問 個人住宅への防犯カメラの設置助成の考えは。

答 個人住宅へ設置する防犯カメラの助成は考えていないが、全国的な自治体の動きなどは注視していきたい。

問 「快適で安全・安心に暮らせるまち」の基盤整備には、防犯カメラの設置は急務と思うが。

答 防犯カメラの効果は、住宅侵入や窃盗等で有意な減少がみられるほか、検挙支援効果がある一方、粗暴犯・暴力犯罪では効果が見られない事例があるとされている。今後は所管の警察署、県関係機関の意見を聞きながら検討していく。

青森国スポ・障スポ開催に向けて

問 町民に向けた国スポ・障スポPRの取り組みは。

答 令和7年6月から町広報紙で各競技の紹介、町オリジナルジャンパーとポロシャツの制作と販売や公用車30台に大会PR用のマグネットシートを貼り付け、PR活動を行っている。

問 下田公園野球場整備は万全か。

答 本年5月には、すべての改修工事が完成し、万全の態勢で選手並びに競技関係者をお迎えできる体制が整っている。

問 小中学校の応援の取り組みは。

答 県の要請に応える形で、町内全小学校5・6年生と全中学校1・2年生、合わせて900人の児童生徒をバスで送迎し、一人1試合を観戦できるよう各学校と調整しているところである。

再 ラーケーション※を取り入れ、子どもたちが国スポの応援に行ける体制を整える考えはないか。

答 授業を受けなかった日については保護者が責任をもって補うことが前提。町ではラーケーションの取り入れは考えていない。

※保護者の休みに合わせて子どもが平日に学校を休める制度。



病院移転後の建物はどうなるのか

おがさわら しんや
小笠原 伸也 議員

おいらせ病院移転後の利活用について問う

問 移転後の建物について、現時点で町が考えている基本方針とスケジュールは。

答 新病院建設事業において、全国的な厳しい病院経営と、物価高など社会情勢の変化の中で、病院建設を進めていくことは難しい場面であるが、状況に応じた見直しを行いながら、着実に進めていく。新病院建設事業は、開院時期を含め、まだまだ不確定な要素がある。

こうしたことを踏まえ、まずは、新病院建設事業の取り組みに注力し、今後、病院移転後に係る建物および土地の利活用を含めた課題の洗い出しをして、しっかりとした検討をすべきものであることから、早急に方向性を導くものとは考えていない。

問 周辺住民や町民全体からの意見聴取の場を設ける考えはあるか。

答 今後、課題等の洗い出しや検討をしていく中で、周辺住民等への意見聴取についても検討していく。

問 住民意見を基本方針や計画案に反映させるのか。

答 まずは、新病院建設事業の取り組みにしっかりと注力し、具体的な課題の洗い出しの中で、総合的に検討していく。

河川敷広場（公園）の現状を問う

問 河川敷公園に設置されているベンチの多くが老朽化し座れない。町としてどうするのか。

答 幸運橋河川広場は県管理の施設なので、町としては公園施設の数量把握や点検は行っていないが、今回の質問を受け確認したところ、老朽化により使用に耐えないと思われるものが、全12基のうち半数以上あることは確認している。

問 壊れたベンチの撤去・修繕はどうするのか。

答 広場の施設の整備及び所有は県であり、県に確認したところ、現時点では、具体的な修繕計画は無いとのことだが、今後の対応等を県と協議していきたい。

選挙の投票率について問う

問 3月に実施された町長選挙は前回2022年町長選挙よりも10%下回った。どう分析しているのか。

答 町長選挙の投票率は、令和4年2月27日に執行した前回は64.85%に対し、令和8年3月1日に執行した今回が54.16%であり、比較すると10.69ポイントの減となったが、投票率の低下は当町のみならず全国的傾向である。

なお、全体の投票率は減少した一方で、期日前投票をした人は5,239人に達し、これまでの選挙の中で最多の結果となった。投票者のうち、47%と、実に約半数が期日前投票制度を活用していることから、期日前投票所を利便性が高いイオンモール下田と北公民館の2か所に増やしたことにより、期日前投票制度自体が広く浸透してきたものと捉えている。

問 投票率が低い地区や年代について、その傾向を把握しているのか。

答 今回の町長選挙では、もっとも低い投票率は、鶯久保地区農業構造改善センターを投票所とする第10投票区の45.64%だったが、他の投票区と比較して大幅に低いわけではない。また、当町における投票区ごとの投票率は、国や県の選挙など、選挙の種類によって傾向も異なる。

また、年代別の投票率は集計していないため把握していない。

問 若年層の投票率向上のための学校関係機関との連携や若者を選挙事務に参画させる取り組みを検討しないか。

答 学校関係機関との連携した取り組みは、選挙管理委員会による支援、協力のもと町明るい選挙推進協議会という団体が主体となり、町内各学校の希望に応える形で出前講座を実施している。

次に、若年層の投票率向上策としては、年齢18歳到達により有権者となった方に対し、選挙啓発のはがきを郵送し、その中で投票立会人の募集についても掲載している。

ふるさと納税増額で自主財源確保を

さわかみ さとし
澤上 訓 議員



ふるさと納税の現状を問う

問 令和7年度のおいらせ町ふるさと納税の金額と担当職員数、並びに返礼品の内容をお聞きしたい。

答 令和7年度のふるさと納税の寄附金額は、3,960万5,020円。担当職員は、兼務職員が1名である。

また、返礼品の内容は全部で150種類あり、寄附額の多い返礼品はハチミツ、薪、生ハム、黒ニンニクなどとなっている。

問 令和7年度の数値に対して、町としてどのような評価をしているのか。また、どのような課題があると考えているのかお聞きしたい。

答 令和7年度の寄附件数及び寄附額は、令和6年度に比較して、426件、624万8,020円の増であり、全国的には下位に位置しているが、年々少しずつ増加してきており、今後の伸びしろを大いに期待している分野である。

ただし、課題としては全国的に人気の高い返礼品である肉・海産物・果物などが少ない等の課題があることから、課題解決に向けて取り組む必要があると考えている。

問 ふるさと納税における自治体のメリットは、①税収の向上につながるということ。②自治体のPRになるということ。③関係人口の創出を見込めるということ。以上大きく3つのメリットを上げることができる。我がおいらせ町は、今後庁舎の建設という大事業が行われる。そのためにも、自主財源をいくらかでも増やす方策を考えるべきと思うが、町長の考えは。

答 自主財源の確保について、将来にわたって持続可能な行政運営を行うため、ふるさと納税等による収入確保策を積極的に展開することは、政策公約の一つとして掲げている。

ふるさと納税の寄附額を増やすためには、まずは魅力ある返礼品の充実のため、地元事業者と連携し、新たな商品開発を行うなど魅力のある返礼品の充実に努めていきたいと考えている。返礼品のPRのため、SNS等の活用やふるさと納税のポータルサイト上でのPRの拡充に取り組んでいきたい。

問 ふるさと納税におけるメリットがある一方で、デメリットも出てくると言われている。様々な地域に寄附ができるからこそ、住民が活用することで、町の税収が減収する可能性もある。令和7年度において、町のふるさと納税の実質的な収支はいくらか。

答 令和7年度の寄附金額は、先にも答弁したとおり3,960万5,020円であった。

一方で、町民が他自治体にふるさと納税した額は、約4,200万円だったので、約240万円が差額。ただし、町民税の減収分はその75%が普通交付税により措置されることになっている。

問 ふるさと納税のメリットの部分をもっと大きくすることで、デメリットを小さく押さえることができる。そこで、町としてプロジェクトチームを組織し、本格的にふるさと納税を増収する計画はないか、今一度伺う。

答 ふるさと納税の増収は重要な公約の一つであり、それを実現していくためには、プロジェクトチームの組織化も含め、先ほど答弁した魅力ある商品の発掘やSNS等での発信や広告の強化など、総合的に対策を検討しながら取り組んでいきたいと考えている。

墓地行政の課題について問う

問 3年前に墓地行政の課題について質問した経緯がある。社会情勢の変化に伴い、墓の管理問題や経済理由等により墓を持てない、墓はあっても自身の死後に不安を覚える町民が増えてきている。おいらせ町の現状について、調査を実施する考えがないかお聞きしたい。

答 アンケート調査については、「今後のまちづくりのための町民アンケート調査」に含めて、令和6年10月に実施した。

問 近隣市町村では、調査実施後に合葬墓を整備したようだ。おいらせ町においても、調査結果によって町営霊園に合葬墓を整備する考えがないか伺う。

答 結果を踏まえ、昨年度は県内の実施市町村の状況を調査した。今後は課題を整理し、必要な規模及び事業費を算出し、整備に向けて前向きに検討していく。

議会の動き 令和8年4月～6月

【4月】

13日 議会広報編集調査特別委員会（本庁舎会議室）

【5月】

19日 議会運営委員会（本庁舎会議室）

19日 第2回臨時会、第3回全員協議会（議場）

20日 町村議会広報研修会（青森市）

29日 議会運営委員会（本庁舎会議室）

【6月】

4～10日 第2回 定例会（議場）



6月定例会の傍聴者は
22名でした。
おいらせ町議会では皆様
の傍聴をお待ちしており
ます。

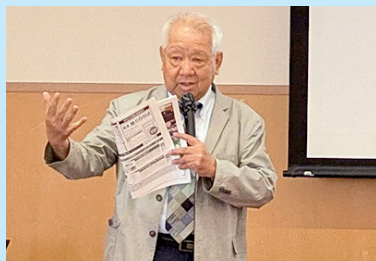


住民が議会と“つながり”実感する広報を

町村議会広報研修会 5月20日（水）

青森労働福祉会館（青森市）において研修会が開催され、4名の委員が参加しました。議会広報サポーターの芳野正明氏^{よしの まさあき}を講師に迎え、議会広報の基本と編集にアドバイスをいただきました。

議会活動が住民に伝わり議会を身近に感じてもらえるよう、今後も工夫していきます。



▲講師の芳野氏



▲研修会の様子

議会だよりに掲載されている二次元コードを読み取ることで、議会で報告された事業や取り組みの詳細記事（町ホームページ内）を閲覧できるようになりました。

お手持ちのスマートフォンなどのカメラで二次元コードを読み込んでご覧ください。



第3回定例会のお知らせ

令和8年9月3日（木）午前10時から
日程の詳細は9月上旬に町ホームページを
ご確認ください。

- 問い合わせ 議会事務局（本庁舎3階）
- 電話 0178（56）2112

編集後記

沢尾副委員長をはじめとする議会広報委員の皆さまのおかげで議会広報活動を滞りなく続けてこられました。それぞれの広報委員の編集後記を読ませてもらい、感動しております。

これもすべて町民の皆さまへの真摯なる感謝の思いであると思っております。町民の皆さまの安心安全な暮らしを願う深い心があるゆえと思っております。

はろけくもわれに踏まれし
影法師 ごめんなさいね
ありがとう感謝



広報委員長 ひのぐち かずこ
白野口 和子

「ぎかいだより懸橋」に

表紙写真をお寄せください

町の魅力あふれる写真をお待ちしています。



送付先	おいらせ町議会事務局 議会広報係
電話	0178-56-2112（直通）
メール	gikai@town.oirase.aomori.jp